

**第2回 議会報告会
各班実施結果報告書**

(平成24年10月26日)

桑 名 市 議 会

目 次

第1班 実施結果報告書（桑名市民会館）	・・・	1
第2班 実施結果報告書（多度町総合支所）	・・・	4
第3班 実施結果報告書（大山田コミュニティプラザ）	・・・	9
第4班 実施結果報告書（長島町総合支所）	・・・	15
アンケート集計結果	・・・	21

<連絡事項>

- 次回の議会報告会は、前回同様、4会場同時開催とし、4月19日(金)
午後6時30分からを予定しておりますので、よろしくお願ひいたしま
す。

<予定会場>

- ・ 桑名市民会館 3階 大会議室
- ・ 大山田地区市民センター 2階 大研修室
- ・ 多度町総合支所 2階 会議室
- ・ 長島町総合支所 2階 大会議室

桑名市議会議長
安藤 寛 雅 様

第1班 班長
清水 教 代 印

議会報告会実施結果報告書

開催日時	平成24年10月26日(金) 19時00分 ~ 20時45分		
開催場所	桑名市民会館		
出席議員	班 長	清水 教代	
	司 会	伊藤 研司	記録者 小川 満美
	佐藤 肇	安藤 寛雅	平野 和一
	大橋 博二		
参加人数	35人		
議会報告の概要	<ul style="list-style-type: none">・平成24年6月・9月定例会の報告・平成23年度決算の審議概要および結果の報告・議員定数削減について		
主な意見・要望	別紙のとおり		
備 考			

議会報告会記録

【第 1 班】

(1/2)

開催日時	平成24年10月26日(金) 19時00分 ~ 20時45分	
開催場所	桑名市民会館	
参加人数	35人	
議会報告に対する質疑応答	質 問	回 答
	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名市総合医療センターの用地取得に関して、市が一等地を買い上げることは、その分税収が減るのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産税は減収になる。市民の安心も大事だが、黒字経営を目指さなければならないので、立地のよい場所が必要。
	<ul style="list-style-type: none"> ・400床の病院には500坪の駐車場が4面必要ではないか。周辺の道路は狭い道路が2本しかない。近くの小学校の通学時間帯は、混雑するのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員駐車場は病院敷地外に考えている。平面だけでなく立体駐車場も必要だと思う。 ・利用者が通学時間帯にかかるが、双方に迷惑がかからないようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・寿町3丁目の場所は、浸水予想地域になっているが、災害時に、病院の機能は保持されるのか。 ・場所は寿町ありきではないのか。郊外に400床の病院を建てれば、そこが活性化できるのではないか。安城市、彦根市、鈴鹿市、松阪市も郊外に移転した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源を上を設置して浸水しても機能が失われないようにする。1, 2階には高価な機械を置かない。 ・病院の場所に関しては、職員と協議をしてきたが、交通利便性、アクセス、中心市街地の活性化、既存病棟の活用を考慮した結果である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・新病院は、旧桑名市民病院を改築しなかったのか。 ・新病院の中身についての議論はどうなっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通アクセス、まちづくりの観点から寿町になった。 ・病院の中身については、今、話し合っている途中である。 ・小児科と産婦人科はすでに一緒になった。 ・議会としても特別委員会を設置して、よい病院をつくるよう調査研究していく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名駅西口のバリアフリー化するとのことだが、トイレは改修しないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月補正予算で近鉄桑名駅のバリアフリー化のための設計費が計上された。そこにはトイレ改修も含まれている。

参加者からの 意見・要望等	<p>・桑部橋、坂井橋付近でよく渋滞する。県道なので県に要望するなどして、橋の増設、拡幅して欲しい。</p>
	<p>(回答) 員弁川の改修に関連して、桑部橋の改修を議長として知事をお願いした。 県道桑部播磨線の拡幅工事がこれから進められていく、それに伴って桑部橋も新設されるが時期は明言できない。</p>
	<p>・議員定数について (市民からの意見)</p>
	<p>議員には、行政をチェックすること、市民とのパイプ役という役目があり、自治会からの要望を行政に伝えるために議員は必要である。一人あたりの歳費を減らして現在の定数を維持する。</p>
	<p>・議員定数について (伊藤研司議員の意見)</p>
	<p>1. 自治体主権が叫ばれている現在、基礎自治体の役割が重要。 2. 桑名市 (名古屋の衛星都市) と武蔵野市 (東京の衛星都市) を比較した場合、産業・人口構造、地理的にも大きな違いがある武蔵野市でさえも議員定数は26名。</p>
	<p>・</p>
	<p>・</p>
	<p>・</p>
	<p>・</p>

桑名市議会議長

安藤 寛 雅 様

第2班 班長

鷺野 勝彦 印

議会報告会実施結果報告書

開催日時	平成 24年 10月 26日 (金) 19時00分 ~ 21時00分		
開催場所	多度町総合支所 2階会議室		
出席議員	班長	鷺野勝彦	
	司会	水谷義雄	記録者 畑 紀子
	辻内裕也	松田正美	星野公平
	飯田一美		
参加人数	31 人		
議会報告の概要	<ol style="list-style-type: none">1 開会挨拶2 班長挨拶・自己紹介3 議会報告<ol style="list-style-type: none">① 6・9月の定例会の報告② 平成23年度桑名市の決算状況③ 各分科会での質問・答弁④ 決算事業評価結果4 報告に対して質疑応答5 意見交換（市議會議員定数について）6 参加者からの意見・要望7 閉会挨拶		
主な意見・要望	<ul style="list-style-type: none">・ 6・8月の補正予算で多度に関係しているものは何か。・ 経常収支比率が県内においてどのくらいのレベルなのか。・ 議員定数26名の根拠を具体的に示してほしい。・ 議員の成績表を作ってほしい。・ 政務調査費を使って市に反映したものはあるのか。・ 都市計画税を減額してほしい。用途を明確に、情報を提供すべき。・ 多度西小の問題が山積しており、早く対応を。自治会に任せてほしい。		
備考			

議会報告会記録

【第 2 班】

(1 / 4)

開催日時	平成 24 年 10 月 26 日 (金) 19 時 00 分 ~ 21 時 00 分	
開催場所	多度町総合支所 2 階会議室	
参加人数	31 人	
議会報告に対する 質疑応答	質 問	回 答
	6 月、9 月の補正予算はそれぞれどれくらいあったのか。多度に関係している補正について教えてほしい。	6 月の一般会計補正予算は総額で約 4 億 3,300 万円。他に計上されていた多度関係は調べて後ほどお知らせします。 (補足) 多度関係予算として主なものは、埋蔵文化財発掘調査費 (建設工事にかかる天王平遺跡の発掘調査費)
		9 月は約 1 億 6,929 万 4,000 円。多度に関するものは、交通安全施設設置で、多度東小学校区に区画線一式と転落防止柵。多度中小学校区にカーブミラーとカラー舗装一式、区画線一式。多度北小学校区にガードレール。野代基盤整備は、国からの補助金で予算がついてきています。
	6 月、9 月の表決結果で反対する人は、同じ人なのか。何でもかんでも反対はよくないのでは。	この表決結果では、全員賛成されたものは、省略していますので何でも反対というわけではありません。皆、議会で話し合い、個人で考えて表決しています。
	タバコ税、桑名市はどこに入っているのか。	タバコ税は、約 8 億です。市内で買ったタバコのタバコ税は市税の中に入ります。
	経常収支比率は、県内でどのくらいのレベルなのか。	良いことはないです。できたら、経常収支比率を 90% 以下に収めるのが理想的です。(補足：桑名市は 94.2%)。県内では後ろの方です。
	9 月補正にある多度中小の東交差点のカラー舗装はこだけなのか。あれで完成なのか。	今もう一度、担当課で協議しています。地域と話し合いをして要望を聞いていくようにし、検討して良い方向へもっていきたいと思います。

	意 見	応 答
議員定数についての意見	議員定数 30 名は妥当なのか。定数 26 の根拠は。人口割りなどから出すのが普通なのは。	2 年前から議会改革検討会が始まっています。地方自治法改正で議員定数の上限・下限がなくなりました。定数 30 から 26 へは、それぞれ議員の中にも異なる意見があり、検討会でもさまざまな意見が出ましたが、明確な基準を設けて 26 にするというものは出てきませんでした。周辺自治体や類似自治体と比較した場合、議会側は、まず身を切っていくという意見や人数を減らして声が届かなくなっているのかという意見など最終的に 26 が多数でした。市民から見たときに、26 名がきちんと働いている姿を示すことが大切です。
	同等の自治体の議員数は調べたのか。	全国の類似自治体を調べました。
	あやふやな 26 名の提案はしないでほしい。はっきりと 26 名の根拠を示してほしい。委員会に何名必要だからとか、具体的に、納得できるように。	ある程度の人数は必要と思います。人口だけでいくと 26 名という数は、類似自治体の中で比べると、多くもないし少なくもない。30 では多いかもしれないし 26 だと少ないかもしれないです。例えば、東員町の定数は 13 人で報酬約 400 万円ですが、議員は定年退職者か社長が多いと聞いています。若い人は議員になれません。これからの議員は、市民のために自主的に勉強していかねばなりません。
	市民から言えば、定数は少ないほうがいい。これは、第三者が入らないとまとまらない。永久に決まらないのでは。議員の成績表を作ってほしい。2 年に一度、検討結果を報告するなど。市民も納得するだろう。	議員は定数を減らしても、一生懸命仕事をしていきます。プロの議員を育てていくための、次世代へつなぐ行政のあり方、選択肢はあります。

	意 見	応 答
参加者からの 意見・要望等	5年前からいろいろ調査をしているが、市は理不尽なところがある。いなべ市と比べて農業は理不尽な課税（注：国保税の固定資産税の資産割）をしている。算出方法を変えてほしい。所得税の比率にウエイトをおいてほしい。固定資産税が払えない人がいるのに。お金は所得のある人からとればいい。	固定資産税をとって健康保険税の二重課税、市は修正しなくてはならない。県では、近いうちに国保を一本化する方向で動いているが遅れています。市は、資産割をなくす方向で動いていますが、時期については、はっきりわかりません。年度については、もうしばらくお待ち下さい。
	政務調査費を使って市に反映させたものは何かあるのか。	政務調査費は会派単位でいただく調査費で、一人に月5万円、年間60万円です。無会派の議員はひとりいただいています。使わなかった分は返還します。具体的には、勉強会や研修会に参加する費用であったり、必要な書籍を購入したりします。以前、現在のコンピューターシステムのこと、先進地に視察に行き、それを桑名市も取り入れたということがありました。 政務調査費は、領収書もきちんとつけておりますし、どのように使われたのか閲覧できますので、どうぞご覧下さい。
	都市計画税、快適で住みやすい地域にするためというが、サル・シガ・イノシシは出る。被害がある所では、減額してほしい。この地域にどういう目的があるのか。計画性がないものは、漠然と決めて取らないでほしい。旧多度の市街化区域の税金の使い道は、どうなのか。	都市計画税は、市民に説明できるようにと、当局には今も言い続けています。これからも強く申しておきます。これは、一般財源と一緒にあって、香取ポンプ場排水機など見えないところでも使われています。多度にも、平等に住民サービスが行き届くようお願いしています。

	意 見	応 答
	<p>多度西小の問題。廃校になって、今は避難場所に指定されたが、体育館は、雨が降れば舞台両サイドがひどい雨漏りで、校舎については、めちゃくちゃで、グラウンドは、草ぼうぼう。このような状態。市は自治会に任せてほしい。こちらの意見をまとめて市に持っていきます。</p>	<p>今、担当課が文部科学省に問い合わせたり、全国の例を見ながら知恵を借りてやっています。それだけでは限界があるので地元を交えた検討会の提案をしていきます。</p>
<p>参加者からの 意見・要望等</p>	<p>話された財政状況をもっと詳しく、市の負債額、具体的な数字を説明してください。</p>	<p>健全化判断比率に基づいて分析しますと、桑名市の23年度は、実質赤字比率は資金不足が生じないので算定なし。連結実質赤字比率も算定なし。実質公債比率は11.1%、将来負担比率は130.5%です。次に、国が定める早期健全化基準については、実質赤字比率が11.84%以上、連結赤字比率が16.84%以上だと（補足：財政健全化団体の）対象になるということです。実比率は130.5%で、350.0%になると国の指導が入ります。夕張市がそうです。早期健全化比率については、国の基準をクリアしています。毎年、赤字決算はしておりません。今後もしっかり行政運営をしていくよう議会もチェック機能を果たしていきます。</p>
	<p>こういう機会でない私たちの声が届かない。せっかくこんなに良い議論をしているのだから、もっと時間をとって何度も開催していただきたい。</p>	<p>貴重なご意見としてお伺いいたします。</p>

桑名市議会議長
安藤 寛 雅 様

第3班 班長
南澤 幸美 印

議会報告会実施結果報告書

開催日時	平成24年10月26日(金) 19時00分 ~20時36分		
開催場所	大山田コミュニティプラザ		
出席議員	班長	南澤 幸美	
	司会	伊藤 真人	記録者 倉田 明子・石田 正子
		倉本 崇弘	市野 善隆 伊藤 恵一
参加人数	15 人		
議会報告の概要	<p>1. 班長挨拶・各議員自己紹介</p> <p>2. 議会報告 (報告会資料当日配布)</p> <p>① 6、9月定例会の報告</p> <p>② 平成23年度桑名市の決算状況</p> <p>③ 各分科会での質問・答弁</p> <p>④ 決算事業評価結果</p> <p>3. 報告及び説明に対して質疑応答</p> <p>4. 意見交換</p> <p>① 議員定数削減について (議会報告会の資料に基づいて市議会議員定数について議会改革検討会の答申を紹介し、現在行っているパブリックコメントや今回の議会報告会での意見を参考に今後検討を進める旨を報告し、質疑応答、意見交換を行った。)</p> <p>② その他</p>		
主な意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・経費節減には、議員定数削減と議員歳費の減額の2つの方法があるのではないか。 ・現状の議員の動きをみていると26人必要と感じる。発言しない議員は必要ない。質のいい議員になってもらいたい。 ・議会傍聴に働いている人は行けないので、土・日に開催ができないか。 ・議事録・インターネット配信等の公開を早くしていただきたい。 ・答弁の言葉がわかりにくい。「検討する」「図っていく」もっと具体的に表現すべき。 ・議員も具体的に市民がわかるように言葉を置き換えることが必要であり、議会報告会においてもわかりやすく説明すべきである。 		
備考			

議会報告会記録

【第3班】

(1 / 5)

開催日時	平成 24 年 10 月 26 日 (金) 19時00分 ~20時36分	
開催場所	大山田コミュニティプラザ	
参加人数	15人	
議会報告に対する質疑応答	質 問	回 答
	<ul style="list-style-type: none"> ・総務分科会 定員適正化とは。人件費削減になったのかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総務政策分科会で議論は特段なかった。正規職員が減っている。非正規が増える傾向である。 ・職員が多いという意見。増やせという意見がある。何人が適正かわからない。 ・職員の適正化について、行政は行政改革で『チャレンジプラン2010』を進めて職員の削減を行っている。正規が50%割っている部署がある。事務分掌があり、それに見合った職員が配置されているかが議論されるべきことである。業務によって比率に見合っているか、検討すべき課題もある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・質問の意図はどうか。職員はこれでいいのか。突っ込んだ質問があったのか。出席議員の意見を聞きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員によって意見が異なる。 ・議会では、事務局がある。委員会では議案質疑、その他発言が会議録に載せられたが、今は、その他発言が会議録に載らなくなった。手が足りないという事で会議録に載らなくなった。不足であることになる。 ・教育分野では、一学級、40人が30人・20人になれば足りないことになる。
<ul style="list-style-type: none"> ・教育経済分科会で「学校・園再編」計画についてわかりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公立幼稚園をどうするかについて「就学前施設再編検討委員会」の委員の報償費が盛り込まれている。 ・資料作成で緊急雇用があった。学校統合が行われた青葉小学校の校旗、校章の作成経費が含まれていると回答があったこと。 	

	質 問	回 答
議会報告に対する質疑応答	<ul style="list-style-type: none"> ・細かい数字を聞いたがよくわからない。一人当たりの借金はいくらになるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人当たり一般会計35万5千円（H22年度決算）三重県29市町で16位 全国 1787自治体で1213位 ・計算の仕方があり異なる。金利を入れると100万円弱。
	<ul style="list-style-type: none"> ・新病院建設にかかる件 どのような検討がなされたかを知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは海南病院にかかわるアンケートであった。 ・6月補正で、東医療センターに隣接する一号館用地を7億7千万円余で購入した。 ・9月補正で桑名医療センター関連予算として、860万円は地質調査費である。 ・全国的に医師不足で、桑名市も例外ではない。救急体制がとれていない。 ・産科医が少なく将来桑名市で出産できるかなど、合併後地域医療の特別委員会を設置した。三重大学附属病院も研修医が減少し、派遣が困難になっている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・寿町に建設するということになるか 建設地を他に検討されなかったのか。ここありきか。 ・市の活性化になるか ・平成27年度には、西医療センターがなくなることになると駅西は病院がなくなることになる ・人口の多いところに病院が少ない。民間は場所を指定できないが、公立なら検討できるのではないか。 ・市議会での討論はなかったのか。本会議では、なされていないのではないか。特別委員会であったのか。 ・災害時レントゲンが使えるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H22年9月、特別委員会の最終報告で桑名市民病院と山本総合病院と統合して医師の集約を行うべきとした。その後地域医療再生交付金を受けることになる。 ・交通の便、震災、災害後建設地の選定に議論があったが、基本設計、増改築、医療機器の整備で106億円ということになった。400床規模の病院が整備され2次医療の確保をすとした。 ・議事録で確認してもらいたい。委員会の会議録等で、4メートルの場所をいいかを出したが、結果的には、賛成多数で決定している。 ・場所については交通の便利がいいとか、他がいいのではないかと意見があったが、決定した。

	質 問	回 答
議会報告に対する質疑応答	<ul style="list-style-type: none">・議員としてきちんとした議論をすべきではないか。・議会質疑で十分に行うべきではないか。	<ul style="list-style-type: none">・公的病院として位置付けるべきという指摘もあった。・病院の在り方については企業会計から独法化になり定款も公的病院の位置づけを外している。場所の前にも病院の在り方については議論があった。・提案型 プロポーザル方式で業者を決めた。災害対応することを考慮する。災害に強い病院にする意見を出している。

	質 問	回 答
参加者からの 意見・要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・経費を削減するには、議員定数削減と議員歳費削減の二つの方法があると思うが、定数削減の話合いが持たれた際、歳費削減についての議論はなかったか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会基本条例を策定する中で、検討会が持たれたが、歳費の件は具体的には議論されていない。身を削ることにについてはいろいろ言われているので、どれが妥当か、という話が出た。議員活動を続けていくためには、一定の生活を保障する額は必要であろうという程度の話はしたが、額面までの議論にはならなかった。 ・補足説明として・・・もともとは、歳費削減というところから、議員定数削減が各市町で行われている。しかし、議員の役割として、今後ますます政策立案、条例立案を行っていかなければならない中で、議会事務局の負担も大きくなり、増員をすれば歳費がかかり、安易に議員定数を削減すれば、経費が削減されるというものではない、という話し合いはした。 ・定数に関しては、検討会の中でも意見が分かれたが、最終的に26人に決まった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の市会議員の動きを見ていると、26人必要かと感じる。論議をビデオで見るが、決まった議員しか発言していない。発言しない議員は必要ない。議員は、地域のどぶ板ばかりをやってはいけない。質のいい議員ばかりなら削減の必要はないと思うが、現状は、削減もしかたない。 ・何人とは言わないが、質のいい議員になってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度始めた議会報告会も、議会だよりも、議会の動きが少しでもみなさんにわかるようにとの思いで、議会改革の一つとして行っている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・議会傍聴は、仕事をしている人は行けない。土日に議会をしては？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・参考意見として、検討委員会に報告する。

質 問	回 答
<p>参加者からの 意見・要望等</p> <p>・ 議事録を早く公開してもらいたい。インターネット配信も早くアップしてもらいたい。</p> <p>・ 工業団地からR258に抜ける道、インターネットセム道路、坂井多度線を深夜にイオンの車が300台通る。産業道路化している。議員の質問に関心をもったが、その答弁が、「検討する」「図っていく」「努力する」などのわかりにくい言葉ばかり。それを具体的にわかりやすい言葉に置き換えるのも議員の仕事。それなくして改革とはいえない。議員は努力してもらいたい。議会報告でも同じように言っている。</p>	<p>・ 議員もそれを望んでいる。議会の情報発信を検討していく。議会の動きがわかるようにしたい。</p> <p>・ 前回もご指摘があり、今回はできるだけわかりやすくするよう努めたが、もっと努力をする。</p>

桑名市議会議長
安藤寛雅様

第4班 班長
堀良二 印

議会報告会実施結果報告書

開催日時	平成24年10月26日(金) 19時00分～20時45分		
開催場所	長島町総合支所 2階大会議室		
出席議員	班長	堀良二	
	司会	岡村信子	記録者 愛敬重之
		竹石正徳	伊藤文一 渡邊清司
		飯田尚人	
参加人数	13人		
議会報告の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会挨拶 2. 自己紹介 3. 議会報告会 <ol style="list-style-type: none"> ①6月定例会の報告 ②9月定例会の報告 ③平成23年度桑名市の決算状況 ④決算事業評価結果 4. 上記報告に対し質疑応答 5. 意見交換(市議会議員定数について) 		
主な意見・要望	<p>【質問事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊曾島小学校悠分校、長島中学校悠分校の県立特別支援学校への移管を求める意見書について ・交通安全施設設置費について ・伊曾島地区防災センター整備について ・「学校・園再編推進事業」の評価と就学前施設の再編に関する答申について <p>【意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立幼稚園の保育時間延長と通園手段について ・桑名市職員倫理条例の対象に市長も含んでほしい ・桑名市は「住み良さ日本一」を目指しているので、ぜひ財政も日本一を目指してほしい 		
備考	市議会議員定数については、2件の意見あり。		

議会報告会記録

【第4班】

(1 / 5)

開催日時	平成24年10月26日(金) 19時00分 ~ 20時45分	
開催場所	長島町総合支所 2階大会議室	
参加人数	13人	
議会報告に対する質疑応答	質 問	回 答
	・桑名市立伊曾島小学校悠分校、長島中学校悠分校の県立特別支援学校への移管を求める意見書については学校開校時よりかかわってきており関心があります。結果的にはどうなったのでしょうか。	・意見書については、今回の9月定例会において全会一致で採択され、議長が三重県知事に提出したところである。議会としても更に三重県のほうに要望していく。
	・交通安全施設設置費について、全国的にも子供たちの登下校時の通学路では危険度が高くなってきています。今回、6,600,000円の補正予算があがっているのですが、桑名市の通園、通学路のどこまでが改善できるのでしょうか。また、本来なら補正予算ではなく、当初予算の中で対応するのが普通ではないか。	・本年4月に登校中の児童等の列に車が突っ込むという事故が多発したことを受け、文部科学省から通学路の交通安全の徹底について依頼もあり、市も点検を実施ところである。今回の補正予算は、早急に実施しなければならない所での予算である。(この予算では要望の13%ほどの改善のみ)この予算については単年度で終わるものではなく、今後も点検結果に基づき改善は実施していくと聞いている。今後は、次期当初予算にも組み込まれると思われる。 【概要】防護柵工(ガードレール、ガードパイプ) L=280m (星見ヶ丘小学校付近他)、カーブミラー設置及び修繕工 10基 (城南小学校付近他)、区画線及び路面表示工 L=3,900m
	・9月定例会に通学路についての要望書が長島中部小学校長及び地域の自治会長、中部連合会名で提出されたと思うが、どうなっているか。内容は、中部小学校南の通学路が非常に狭いということと、カーブミラーの設置についてである。	・市側に直接要望されているのではないかとと思われる。内容の2点については、確認も含め、意見があったことを市側に申し伝える。

	質 問	回 答
議会報告に対する質疑応答	<ul style="list-style-type: none"> ・城南地区防災センター建設事業費について話を聞いたが、地域審議会でも何度も審議されている伊曾島地区防災センター整備の進捗状況は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月定例会の一般質問でもあったが、南海トラフ地震の被害想定等を考慮、調査研究して何とか進めていきたいというような前向きな答弁であった。 強い要望があったことは市側に申し伝える。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校・園再編推進事業」について、今年の7月に桑名市就学前施設の再編に関する答申が出たということで、長島には4つの園があり、平成29年度には1つにする案が出ていると聞いています。第2幼稚園も平成26年度に休園ということも聞いています。その地域の園児の今後は(他の幼稚園に通園となった場合の移動確保等)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・答申では、5年後の公立幼稚園は再編後11園と5園の2案が併記されており、通園方法についても原則保護者送迎となっている。 ・幼保一元化については、認定子ども園という流れもあり、市としてのビジョンを示すように市議会でも提言しているところである。
	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名市全体の保育時間延長について、お母さんが就労している場合、せめて15時から16時という声があります。長島地域で3年前に要望を出したが、回答はなかった。2日・3日前にも第2幼稚園で試験的に延長保育を実施する要望書を市長及び教育長に提出しました。幼稚園の再編・統廃合の問題について、議会として今回評価5となっているが、どう考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価5というのは、これから少子化が急速に進んでいくという中で、きちんと対処しなさい、しっかり進めなさいという意味での評価である。 ・公立延長保育については、私立の経営悪化に繋がるということもあり困難と思われる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名市の場合、公立の幼稚園と私立の幼稚園の比率は決まっているのか。(愛知県高等学校の例を取り上げて) 多度の場合、幼稚園・保育園が一体化され、幼稚園児は2時ではなく、保育園児と同じ時間までとなっている。バスで送り迎えする関係もあるが、これは一種の延長ではないか。長島地区でも可能ではないのか。(バスがなければ公立は無くなります。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・比率については、桑名市の場合、特に決まっていない。 ・答申における通園方法は原則なので、長島町におけるバス通園については意見として市に伝えていきたい。

	質 問	回 答
議会報告に対する質疑応答	・ながしま遊館整備事業は、合併特例債を活用しているのか。	・基金等を活用しており、合併特例債は使われていない。

参加者からの 意見・要望等	<p>・ 幼稚園教育について、少人数でのクラス編成は、小学校にあがっていくという集団生活の中で、友人関係などで問題となる部分もあるのではないかと。できるだけ同じ地域の子供は、一つの幼稚園にまとまって教育を受けたほうが良いと考えます。ある地域では、送迎がある私立に通う園児が7割という所もある。</p> <p>親の思いとしては公立に入れたいと思っているが、保育の時間が短いということがあるので、もう少し長くできるようにしてほしい。また、中部第2幼稚園が休園になった場合のバス通園等を含めた処置を検討してほしい。</p>
	<p>・ 決算事業評価結果表の議会評価1から5について、この文面だけでは市民には理解しにくい。</p> <p>市民に対する議会報告であれば、市民の方が理解できるような書き方、資料にしてほしい。</p>
	<p>・ 桑名市職員倫理条例の制定について、この条例の対象に市長が含まれないのは少し不十分のような気がする。</p> <p>二元代表制をとっているのだから、議員から市長も対象にすべきと訴えれば、全会一致になったのではないかと。</p>
	<p>・ 議会として市長に問責決議をされたが、今回立候補するということは議会を軽視しているのではないかと。思う。</p> <p>逆に問責決議を行ったのに現職が立候補するということであれば、議会として反省をすべきだと思ふ。</p> <p>議会のほうが辞職勧告まですべきであったのではないかと。市民側では今回の不祥事は悪いと思っている。</p>
	<p>・ 桑名市は「住み良さ日本一」を目指している。財政でも同じことが言えると思うので、現状に満足することなく財政も1位を目指してほしい。</p> <p>いろいろな部分で日本一を目指すためには自分の身を削る事も必要かと思う。</p> <p>首長の給料はともかく、退職金は1期4年で1,800万円ぐらい出るようなので、三重県知事や尾鷲市長の例を参考にぜひ考えてほしい。</p> <p>議員ももっと市民側に立っていただきたい。市民あつての行政です。</p>

意見交換：市議会議員定数（次期一般選挙より議員定数を4人削減し、26人とすること）について

- ・ 大きな川を越えた合併ですので、長島には議員が何人というふうな考え方も必要。（小選挙区として長島に議員確保）議員の皆さんは、自覚を持って桑名市の行政に対してはつきりものが言えるような議員でいてほしい。
- ・ 旧桑名市では28名であったということで、時代の流れ等から見れば26名は適当な数字かなと思う。しかし、地域審議会の意見もなかなか通らない中で、長島・多度の住民の中には、まだ合併について納得されていない方がいると思う。その中で、26名にすることによって長島・多度の議員が不利な立場になっていくようなこともあるのではないか。
地域審議会もあと2年ほどで終わると思うが、無くなった時の住民の意見や問題をどこにぶつけていけばよいかなども含め、将来を見据え十分検討してほしい。

参加者からの
意見・要望等

議会報告会アンケート集計結果(平成24年10月26日分)

(単位:人)

質問項目	会場名	桑名市民会館	多度町総合支所	大山田コミュニティプラザ	長島町総合支所	合計
性別						
	男性	31	25	5	10	71
	女性	1	3	3	1	8
年齢						
	20歳代以下			1		1
	30歳代	2				2
	40歳代	3			1	4
	50歳代	8		1	4	13
	60歳代	7	15	3	3	28
	70歳代以上	11	13	3	3	30
お住まい						
	市内	30	27		11	68
	市外					0
ご職業						
	学生					0
	会社員	3	4		3	10
	自営業	8	5		1	14
	主婦		1			1
	無職	10	17		3	30
	その他	9	1		3	13
この会場を選ばれた理由について						
	自宅から近い	15	27		8	50
	勤務先から近い	5				5
	支持している議員がいる	11	1		2	14
	その他	3			1	4
議会報告会の開催をどこで知りましたか						
	広報くわな	13	27		10	50
	ケーブルテレビ					0
	市議会ホームページ	2	1			3
	公共施設の案内チラシ	1	3		2	6
	知り合いの議員から	17	19			36
	その他	3	3			6
参加しやすい日について						
	平日の夜	19	9		7	35
	土日曜日の午前	2				2
	土日曜日の午後	1	2		1	4
	土日曜日の夜	5	12		2	19
	その他	2	3			5

参加されてのご意見、感想など（アンケート自由記載）

【桑名市民会館】

- ・ 市民の質問レベルが高くて驚いた。大変参考になりました。
- ・ 議員定数については、判断材料が必要である。駅前活性化対策が必要。県境を越えた地域づくりが必要である。
- ・ 補正予算、決算説明等について、よく準備されていて大変わかりやすく、桑名市の行財政の現況を理解することができたと思う。

【多度町総合支所】

- ・ 多度の地で開かれまして、多度の問題が出ないのは残念です。早くから先送りになっている温泉問題は、議員はどう思っているのでしょうか。
- ・ こういう機会は又もってほしい。
- ・ 明確な解答がなされなかったことは残念。議員さんも、もう少し答弁をできるように努力してほしい。もっと勉強せえ。
- ・ コミュニティーバスの利用について、老人福祉との関連について、充分考慮して運用すること（収支面も含む）。
- ・ 少し難しかった。専門用語が多かった。
- ・ 消化不良？
- ・ 時間が短いので、もっと長くするか回数を増やしてほしい。
- ・ 答弁は予測して準備をしておくべき。
- ・ 資料を早く見せてほしかった。その日の資料では、質問ができにくい。報告会は、たいへんよかった。
- ・ もっと細かい資料、他の地区と比較した資料の提供をしてほしい。
- ・ この会をこれからも続けていってほしい。
- ・ 今後も定期的開催を望む。
- ・ 一生懸命に説明しようとしている態度は評価します…今日の報告会は。しかし、話を聞く方は素人ばかりで、説明のやり方には一考を要すると思います。
- ・ 議員定数は、議員ではまとめるのは困難ではないか？4年の任期を全力で務める人であれば、現在的人数で可。今の議員の働きぶりでは、半数でもよい。派遣議員制度にでもして、日本の先端を示しては？
- ・ 「事業評価結果表」について
「議会評価」は今後の事業の重要度の指標ですネ。民間企業なら、業績考課を出して、それに対して何%達成したとか、未達であるとか、判り易く数値化します。できないのでしょうか。
- ・ パソコンの無い高齢者の人も、関心が高いので、この様に報告会は良いと思う。

【大山田コミュニティプラザ】

- ・ 初めて参加
- ・ 初めて見学させていただきました。
- ・ 平日ということもあり、参加人数が少なく感じました。
日程を見直すことと、より多くの市民に伝えられるよう議会や市としてもソーシャルネットワークをもっと活用すべきではないでしょうか。
- ・ 参加者が少ない、周知方法、開催日時の検討を。議会用語でなく誰にもわかる言葉を。
- ・ 説明不足。問題意識が低いと思う。
*御衣野地区と258号線、高速道に連絡する市道の整備を具体化して欲しい。(市道坂井多度線が産業道路化している)
- ・ 第1回議会報告会の出席議員より平均年齢が若いから、もっと改革と仕事をしてほしい。
- ・ 桑名市の借金を減らそうという意識が不足している。(議員さん達)
報告会資料の説明が不足。(歳入・歳出の増減の内容等)
議員削減について歳費の面から見れば、人数か給与を減らすことを考えるが、活動の活性化が図られれば定数削減という事も市民から出てこないのではないか?
現状では、分科会の活動も物足りないと感じる。分科会委員数7名の根拠も不明、分科会の組み合わせも不明。(教育・経済)
- ・ 行政改革で自ら身を削るといいますが、これは人数を少なくするという事ではないと思う。少ない収入をどう工夫して有効に使うかではないか。
定数削減に反対です。頭数の問題ではないと思う。いかに働く議員を選ぶかではないか。

【長島町総合支所】

- ・ 成果なし。
- ・ 市民への広報活動を拡大する。(多くの市民が参加出来るように)
- ・ 出席者が少ない。
- ・ 会計報告が口頭で早く、理解が難しかった。
- ・ ほぼ質問については回答が理解出来た。